

St. Luke's International University Repository

2004年度聖路加看護学会理事会報告

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2021-03-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10285/727

This work is licensed under a Creative Commons
Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0
International License.



学 会 記 事

2004年度 聖路加看護学会 理事会報告

第1回

- 日 時：2003年10月20日(月) 18:00～20:10
- 場 所：聖路加看護大学 505 会議室
- 出席者：理事4名、監事1名

議事

1. 理事長挨拶

菱沼理事長より開会にあたり挨拶があった。

2. 2004年度総会議事要旨の承認

2004年度総会議事要旨は原案通り承認された。

3. 報告事項

1) 第8回聖路加看護学会学術大会終了報告

資料に基づき第8回聖路加看護学会学術大会が終了した旨の報告があった。

2) ニュースレター委員会

ニュースレター14号は、11月28日発行を予定しているとの報告があった。

3) 学会誌編集委員会

現在寄稿論文は2件あり、委員会で審査を進めている。また、第8回学術大会の講演およびシンポジウムの内容を掲載する予定である旨の報告があった。

4) 学術交流委員会

「電子カルテの光と影—IT時代における看護の可能性」というテーマで学術交流会の企画をすすめているとの報告があった。

5) 庶務

聖路加看護学会のロゴを募集するための広告をニュースレター送付時に同封するとの報告があった。

6) 会計

第8回学術大会長より学術大会準備金30万円の返金があった。

会員からの会費納入を徹底してもらうために、ニュースレター送付時に、会費納入状況、および新年度会費納入の振込用紙を同封する。未納分は遡って納入していただくように周知するとの報告があった。

4. 協議事項

1) 新入会員の承認について

入会申し込みが1名からあったが、記載が不十分であるので、今回は承認を見送ることとなった。本人に推薦者、および勤務先の記入の訂正を依頼する。また、会則第5条「看護学研究、看護実践、看護教育に携わる者で、…」に関して、業績を記入していただき、再度申し込んでいただくよう説明することとなった。

2) 退会会員の承認について

1名から退会の申し出があり、承認された。

3) 2004年度事業および委員会活動について

(1)第9回学術大会について

第9回学術大会長は国立保健医療科学院 平野かよ子氏で、実行委員長は福島氏、会場は聖路加看護大学の予定である。学会運営の支援方法を検討することが申し合わされた。

(2)会員の充実について

会員数の拡充を図るために、本学卒業生、本学大学院入学生、聖路加国際病院入職者、大学の科目等履修生にも入会案内を配布することが確認された。

また、入会案内を他病院にも送付すること、看護実践開発研究センターとのタイアップの方法、本学客員研究員、共同研究者、本学大学院修士へも入会を案内する方法について検討され、了承された。

(3)会則の改正

現状に即した会則へ見直しを行うことが了承された。

(4)学会ロゴについて

ニュースレター発送時に募集概要を同封する。色合いについては学会に合わせる。

応募資格は会員のみとする。5月の理事会において選考し、第9回総会にて承認を得る。謝金は1万円とする。ただし、応募がない場合は、委員会で検討する。外注はしない。以上のことが申し合わされた。

第2回

- 日 時：2004年1月9日(金) 18:00～20:30
- 場 所：聖路加看護大学 506 会議室
- 出席者：理事7名、監事1名

議事

1. 理事長挨拶

開会にあたり、菱沼理事長から挨拶があった。

2. 2004年度第1回理事会議事要旨案の承認

第1回理事会は、出席理事が4名と少なかったため、書面理事会に準ずる承認の手続きをとった。その結果以下の修正を行い、理事10名中9名(1名無回答)の承認を得て、議事録は承認された。

・出席者の評議員を監事に修正する。

・3.報告事項6)「学会費用残金30万円の返金があった」を、「学術大会準備金30万円の返金があった」に修正する。

・4.協議事項3)(1)第9回学術大会については、簡

条書きの3項目～5項目までを削除する。

3. 報告事項

1) 学会誌編集委員会

小松理事から上泉理事に編集委員長が引き継がれた。既投稿論文6件、および新規投稿論文3件の計9件の掲載を検討中である。論文の締切りは1月末、学会誌の発行を6月末頃に予定しているとの報告があった。

2) ニュースレター委員会

第8回学術大会を特集した14号を発行した。現在15号の原稿を締切り、発行の準備をしている。今回は、学術交流会に関する特集を掲載するとの報告があった。

3) 学術交流委員会

「看護学研究における倫理」についての学会の取組みに関するアンケート調査があり、本学会からも、学会誌編集上の配慮や、学会として啓発をどのようにしていくか、学術交流との関連等で検討していく必要があるとの報告があった。

4) 庶務

(1) 学会員の拡充について

学会員に占める同窓生の割合が82%であり、今後同窓生の入会のみでは、学会の真の発展はあり得ないため、各会員から同僚及び院生等に入会を案内し、研究発表等の場としてもらいたいとの説明があった。また、病院や大学院のある大学に、新入職員や修了生を対象に、ニュースレターと「入会のしおり」の送付を考えているとの報告があった。

(2) 第8回学術大会の報告と学会ロゴの募集などについて学会ホームページの更新を行ったとの報告があった。第9回学術大会の企画が整い次第、学会ホームページは更新していく予定であると説明があった。

5) 会計

本年度の会費納入者は155名、納入率は28%である。

会費納入票に年会費と入会金の両方の額が記載されていたため、送金額の誤りが生じた。ニュースレターの発行の際に再度送金票を送付する予定であるとの報告があった。

6) その他報告事項

第9回学術大会企画委員会からの申し出により、企画委員に理事会から松谷理事、聖路加看護大学から横山由美氏が加わることであったとの報告があった。

4. 審議事項

1) 新入会員の承認について

入会申込書が提出された2名について、審議の結果入会が承認された。

2) 退会者の承認について

退会の申し出があった次の2名について、退会が承認された。

3) 学会誌編集委員会の委員の増員について

編集委員長の変更にともない、委員1名の増員の希望が出された。これについて、編集委員不足の理由が明確でないことから、今回は不承認となった。今後必要性が生じたら再度検討することが申し合わされた。

5. 会則の見直しについて

検討を要する内容として以下のことが挙げられた。現行と修正案との比較ができる表を次回理事会までに準備し、継続審議することが申し合わされた。

第二章 会員

- ・納入済みの年会費は返却しないことを明記する
- ・会費の滞納による会員資格の喪失について要検討

第三章 役員・評議員および学術大会会長

- ・指名理事について（理事会承認および議決権）
- ・監事の理事会出席と議決権について

第四章 会議

- ・理事会の成立について
- ・第21条「事業」ということばを修正する
- ・ニュースレター委員会と学術交流を規則に入れる。
- ◇会費に関しては、入会金、年会費決定のためのシミュレーションを行い、会費の規定と会費に関する申し合わせについて中山理事から案を出す。
- ◇旅費規定を作成する。
- ◇投稿規定については改変なし。
- ◇査読に関する申し合わせを編集委員会で検討する。査読規定についても検討する。
- ◇選挙管理に関する規定を学会誌に載せる。また、改正の日付（2002年10月28日改正）を入れる。
- ◇脱字の訂正。

6. その他

1) 日本看護系学会協議会に関して

本学会が属する日本看護系学会協議会は、これまで日本学術会議の研究連絡委員会に会員を送り出すことを目指してきた。今後選出方法等が変わるが、今後も正式参加の達成を目指すことが確認された。

2) 学会の将来構想について

本学会の創設の経緯および使命を見直し、その学術的意義を明らかにしていくために、将来構想を今後検討していくことが確認された。

第3回

- 日 時：2004年5月14日（木）18:00～20:25
- 場 所：聖路加看護大学 505 会議室
- 出席者：理事8名、監事2名

議事

1. 理事長挨拶

学術会議の動向にともない、何を追及していく学会であるかが世に問われていることを念頭において、学会のこれからを考えなければならないとの挨拶があった。

2. 2004 年度第 2 回理事会議事要旨の承認

「2004 年度第 1 回議事録の確認」の簡条書きについて、「学会費用 30 万円の…」を「学術大会準備金 30 万円の…」に修正する。

3. 報告事項

1) 学会誌編集委員会（編集委員長代行）

(1) 学会誌発行予定の対象となる 9 件の寄稿論文の検討を実施した。報告 2 件、総説 1 件、原著 2 件を次回の発行に向けて準備している。この他に分類が明確にされていない原稿および査読が完了していない論文が合計 4 件あるが、これらの論文については次回に向けて査読および検討を行うとの報告があった。

(2) 7 月に編集委員会申し合わせ事項を確認する予定である。査読ガイドライン、倫理的事項の取り扱いについても検討していく予定であるとの報告があった。

2) ニュースレター委員会

(1) 聖路加看護学会ニュースレター 14 号を 2003 年 11 月に、15 号を 2004 年 1 月に 800 部発行した。尚、同 14 号並びに 15 号は、2003 年度の卒業生、修了生、2004 年度の聖路加国際病院採用者に配布したとの報告があった。

(2) 2005 年度の年間計画を立案したとの報告があった。

3) 学術交流委員会

6 月 5 日に、パネルディスカッション「電子カルテの光と影」を開催する予定であるとの報告があった。

4) 会計

(1) 会費納入状況：1 月 9 日現在の納入率が 28 %であったため、個人の納入状況を通知した結果 58 %になった（昨年はこの時点で 50 %）。4 年間未納者 30 名には退会警告をしているので、退会の手続きをとる。3 年間未納者 18 名については、納入がなければ会員資格喪失になる旨を通知するとの報告があった。今後、会費値上げを提案していくためには、最低でも 75 ～ 80 %の納入率が必要になるだろう。

5) 庶務

(1) ホームページの更新ならびに学会入会案内の配布を行ったとの報告があった。

(2) 日本学術会議からの科学研究費補助金交付の審査委員について、当該学会の情報提供を行った。この件については、今後、理事会で情報提供のための委員会を設けるかどうか、新しくなった学術会

議の進め方を見極めたうえで検討していく必要があることが確認された。

(3) 学術著作権協会に学会情報の提供を行ったとの報告があった。

(4) 学会事務所が聖路加看護大学 2 号館に移転したとの報告があった。

6) 第 9 回学術大会の準備状況

第 9 回学術大会企画委員会から準備状況についての報告があった。

4. 審議事項

1) 新入会員の承認について

入会申し込みのあった 7 名について、審議の結果入会が承認された。

2) 退会者の承認について

退会希望のあった 4 名のうち、今年度の年会費を納めた 2 名について、退会を承認した。他の 2 名については、会費の納入を先行していただくよう通知する。

3) 会則の改正について

第 2 回理事会で提案された改正案をもとに、次の内容が審議された。

- ・「第五章 総会」をあらたに設ける。それによって第五章以降の章の番号がひとつずつ増える。
- ・「第六章 会誌等」は、「第七章 委員会」とする。第 6 条、第 8 条の 2、第 10 条、第 18 条、第 18 条の 3、第 18 条の 4、第 19 条の 4、第 21 条、第 25 条の改正案について審議がなされ、改正案が提出された。

会計に関する責任について次の事項が確認された。すなわち、会計の最終責任は理事長および理事会が負う。

4) 聖路加看護学会学術大会における物品展示及び販売に関する規定

第 9 回学術大会企画委員会から理事会承認要求のあった『学術大会における物品および販売に関する規定』について、条文形式を改めて申し合わせ事項とし、大会企画委員会の内規として扱うことが承認された。

5) 学会誌残部の処理について

会誌残部の処理について、学会誌の実費と会費との関係を勘案し、時期と販売価格の案を作成し、再検討することが申し合わされた。

6) 聖路加看護学会ロゴについて

応募はなかったとの報告があった。今後学会名の変更も考えられるので、今回は見送りとするのが承認された。

第 4 回（書面理事会）

● 日 時：2004 年 8 月 2 日

● 返信者：理事 10 名、監事 2 名

内容

1. 2004 年度第 3 回理事会議事要旨の訂正と承認について
 3. 報告事項 1) 9 件の「学会誌」を「寄稿論文」に訂正の上、議事要旨は承認された。
2. 新入会員の承認について

入会申し込みのあった 8 名について、審査の結果入会が承認された。

第 5 回

- 日 時：2004 年 9 月 3 日 (金) 18:00～20:40
- 場 所：聖路加看護大学 5 階 506 会議室
- 出席者：理事 7 名、監事 1 名

議事

1. 理事長挨拶

開会にあたり、菱沼理事長より挨拶があった。
2. 2004 年度第 4 回理事会議事要旨案の確認

2004 年度第 4 回理事会議事要旨案は訂正事項なく、承認された。
3. 報告事項
 - 1) 学会誌編集委員会

資料に基づき本年度の委員会活動経過について報告がなされた。
 - 2) ニュースレター委員会

資料に基づき本年度の委員会活動経過について報告がなされた。
 - 3) 学術交流委員会

資料に基づき本年度の委員会活動経過、および次年度の活動計画について報告がなされた。
 - 4) 庶務

資料に基づき本年度の学会庶務の経過について報告がなされた。

 - ・入会者、および退会者について
 - ・2004 年 8 月 25 日現在会員数は 564 名である。
 - ・日本看護系学会協議会へ参加した旨を報告資料に加えることが確認された。
 - ・日本学術会議研連からの要望による推薦を行った旨を報告資料に加えることが確認された。
 - ・聖路加看護学会ロゴ募集を行ったが、応募者はなかった。協議の結果、今回のロゴの決定は見送りとする事が申し合わされた。
 - 5) 会計

資料に基づき会計の報告がなされた。

資料について以下の訂正があった。

 - ・その他備考欄の「複写使用料」の記載は削除する
 - ・「選挙積立金」は支出の部に記載する

会計運営上の課題として、以下の点があげられた。

 - ・会費は、8 割以上の会員からの納入率を目指すべきではないか
 - ・会員の拡大をはかりたいが、本学会の将来構想と

の兼ね合いもあるため、今後検討が必要である学会の philosophy をもっと明確に打ち出し、会員を増やすことが必要ではないか

- ・庶務で会費未納者をはっきりさせることが必要ではないか
- ・学会のホームページをさらに充実させる必要があるのではないか
- ・大学院生を会員として勧誘することも重要であるが、「聖路加」を冠とした学会であることとの兼ね合いもあるため、他大学の大学院生を勧誘することは難しいのではないかと

4. 協議事項

- 1) 2004 年度収支決算、会計監査について

資料に基づき 2004 年度収支決算報告がなされ、承認された。

氏家監事より、会計監査は 8 月末の収支がまとまった後に行いたいとの意向が出され、承認された。尚、次年度の会計監査時期は、9 月はじめの理事会後としたいとの提案があり、検討の結果、承認された。
- 2) 2005 年度事業計画

資料に基づき 2005 年度事業計画の説明がなされ、承認された。

2005 年度には、評議員、および役員選挙が行われることが確認され、告示および選挙規定選挙管理委員会規定などを次回理事会で確認することが申し合わされた。

本学会の将来構想に関する検討を始めたいとの提案がなされ、予算化することが承認された。
- 3) 2005 年度予算案

資料に基づき 2005 年度予算案の説明がなされた。

尚、前項 2 の提案による将来構想のための経費には、予備費をあてることとし、「将来構想検討事業を含む」と明記すること、ならびに金額は 30 万円とすることが承認された。

選挙積立金は「4.特別会計」とすることが確認された。
- 4) 第 11 回学術大会会長の推薦について

理事長より、第 11 回学術大会会長の候補者氏名があげられたが、本人の内諾を得るに至っていないとの経過報告がなされた。

他にも数名の候補を考えている段階であり、業績など他の学会との兼ね合いや、本学会の良いアピールとなるような人選をすることが検討された。次回理事会で推薦者を最終決定することが確認された。
- 5) 新入会員

資料に基づき新入会員の申請が出された 2 名について紹介があった。

審議の結果、入会が承認された。
- 6) 退会

資料に基づき退会申込者 5 名についての説明があっ

た。

審議の結果、退会が承認された。尚、このうち2名は本人からの退会の届出、3名は3年間の会費滞納による資格喪失、1名は死亡による退会であることが確認された。

来年度からは、資格喪失者についてはその内訳(退会届け、会費滞納、除名、死亡)を資料に記載することが申し合わされた。

7) 会則改正について

会則改正について資料に基づき説明がなされた。

会則第6条、第8条(4)、第9条(2)(3)、第18条-3、4、第19条-4、第五章、第25条、章の送りは前回までに検討されたものであり、この他に、大会会長の任期、理事会出席、などの規定の必要性について検討したが、条文化はしないことが承認された。

8) 評議員の繰り上げ選出について

紅林みつ子評議員のご逝去に伴い、繰り上げ選出について検討し、審議の結果、森田夏実氏を選出することが承認された。次回の評議員会に報告して承認が得られた場合、本人に通知する。

9) その他

(1)平成17年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞及び若手科学者賞受賞候補の推薦について

資料に基づき文部科学省からの依頼がある旨について説明がなされた。今回は候補者の選出は行わないが、今後推薦ができるように考えていくことが確認された。

(2)学会誌定期購読機関について

資料に基づき本学会誌を定期購読している機関について説明がなされた。

(3)2005年度理事会開催予定(案)について

資料に基づき2005年度の理事会開催予定について確認があった。

(4)メディカルオンライン参画について

資料に基づき、株式会社メテオインターゲート社から学会誌のオンラインについて問い合わせがあったことについて説明があり、本会として今後このような営利企業が管理するデータベースに参画していくか、意向の確認があった。

検討の結果、本学会誌の電子化の状況を本学図書館に確認すること、また著作権、版権の規定を明確にすることを先行し、データベースへの参画についてはその結果により今後検討することが申し合わされた。

(5)第9回大会準備について

菱沼理事長より、第9回の学術大会の準備状況について説明があった。

(6)役員選挙について

2005年度は役員改選選挙が行われるため、選

挙人名簿の確認、選挙管理委員会の立ち上げなどが行われる。選挙規定の確認を行うこと、および選挙権・被選挙権確認のための会費納入の期限を5月とし、5月に選挙人名簿を作成すること、6月選挙投票、7月評議員選出となるように進行することが申し合わされた。

(7)故・前常葉理事長のご遺族様に学会誌を謹呈することについて

本学会誌第8巻第1号に前常葉理事長への哀悼の辞が掲載されているため、ご遺族様に学会誌を謹呈させて頂くことが申し合わされた。

第6回

●日時：2004年9月24日(金)16:30～17:20

●場所：聖路加看護大学5階505会議室

●出席者：理事9名、監事2名、第9回大会長

議事

1. 理事長挨拶

開会にあたり、菱沼理事長より挨拶があった。

2. 2004年度第5回理事会議事要旨案の確認

2004年度第5回理事会議事要旨案は訂正事項なく、承認された。

3. 報告事項

1) 学会誌編集委員会

資料にもとづき本年度の委員会活動経過について報告がなされた。

2) ニュースレター委員会

資料にもとづき本年度の委員会活動経過について報告がなされた。

3) 学術交流委員会

資料にもとづき本年度の委員会活動経過、および次年度の活動計画について報告がなされた。

4) 庶務

資料にもとづき本年度の学会庶務の経過について報告がなされた。

5) 会計

資料にもとづき会計報告がなされた。

・その他備考欄の「平成14年度学術著作権協会複写使用料」の入金が確認できた

・一般会計および特別会計に分けて会計報告書を作成した。

6) 会計監査報告

・氏家監事より一般会計および特別会計について会計監査報告があり、監査報告が承認された。

4. 協議事項

1) 第9回総会プログラムについて

資料にもとづき説明があり、承認された。

2) 第11回学術大会会長の推薦について

菱沼理事長より、第11回学術大会会長には、聖隷クリストファー大学 木下幸代氏を推薦したいと

の説明があり、原案通り承認された。

3) 2005 年度学会役員および選挙管理委員の選出について

選挙規定および選挙関連の事業計画案について資料にもとづき説明があり、原案通り承認された。

4) 新入会員について

資料にもとづき新入会員の申請が出された 2 名について紹介があった。

審議の結果、2 名の入会が承認された。

5. その他

1) 学会誌編集委員会委員の変更について

現在の学会誌編集委員のうち、大久保、長岡、山

西委員の計 3 名を退任とし、新たに加賀谷聡子（聖路加看護大学大学院）、角濱春美（青森県立保健大学）、片岡弥恵子（聖路加看護大学）、村上好恵（聖路加看護大学）の計 4 名を新任させたいとの説明があり、原案通り承認された。

2) 第 9 回総会の進行の確認について

9 月 25 日に行われる第 9 回総会の議事及び進行、担当理事の確認がなされた。

3) 第 9 回学術大会について

平野かよ子大会長から、挨拶があり、9 月 25 日の大会の準備状況、参加申込状況について説明がなされた。